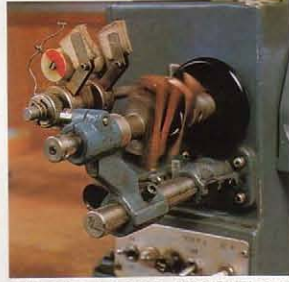




カナダ現地で選別し直輸入している、堅く、木目の締まったメイプル材。現地での自然乾燥、人工乾燥、そして工場での自然乾燥、人工乾燥により含水率を楽器として最適な5~6%まで落して加工している。



塗装の技術は長年の経験による熟練した腕とセンスが要求される。グレコが生んだスーパーリアルシリーズのカラーリングがひとまわり重厚で奥深い色あいを出しているのはこの技術と研究開発があるからだ。



数多くのプロトタイプの試作、開発を繰り返しているグレコ研究開発部門。長年に渡って蓄積したノウハウで生み出したピックアップDRY™、Screamin™、THE GROOVE™、Baby Gang™などサウンドの追求は激しい。



メイプル、マホガニー、メイプルの三層構造を持たせたスーパーリアルセミアコースティックボディである。トップ、バック、センターブロック&サイドリムの接着には細心の注意をはらって工程を進めて行く。



三層トップ&バック、コンビネーションセンターブロックを持ったSA1200。

ギタリストの感覚に生き生きと反応するサウンド、サステイン豊かな表情を描き出すハムバッカー、数多くのプロフェッショナルに支持されたグレコのサウンドがここにある。

ハムバッキングピックアップ

2つのコイルを逆相直列に接続し、それぞれのポールピースの磁極を違えてあるシステムを持つピックアップ、それがハムバッキングピックアップだ。不要なノイズ成分をピックアップ自体でキャンセルし、クリアなサウンドのみをアウトプット、さらに磁界有効面積が広いので微妙な弦振動、繊細なピックアップニュアンスまでも余すところなく生々しく再現してくれるのが大きな特徴だ。ハムバッキングピックアップというとすぐにバワフルさが強調されるのだが、このようなデリケートな面でもこそハムバッキングピックアップの本領が発揮されるという事も頭に入れておくといきたい。

サウンドに色あいを加えたグレコ・ハムバッカー

強力なラインナップを誇るグレコのハムバッキングピックアップ。永年に渡るピックアップの研究開発によりグレコが世に出して来た「U-1000」、「U-2000」をはじめとする傑作モデルの「U」シリーズそして今また、新たなコンセプトの元に開発した「DRY™」、「Screamin™」、「The Groove™」をハムバッカーシリーズのラインナップに加え、一層充実したシリーズとしている。EGF1800、EGF1200、EG1000、SA1200にセットしてあるピックアップが「DRY™」、ハムバッカーアーチストならば誰もが夢にみる稀有な存在のあのP.A.F.サウンドを蘇えらせたとして今多くのプロギタリストの間で評判となっている音色を持ったピックアップだ。従来のハムバッカーのイメージを打ち破った広範囲に渡る感度、ストレートに通る高音こそが、

「DRY™」の持ち味、ハムバッカーの真髄なのだ。「DRY™」の魅力を受け継ぎ、マグネット材料をアレンジした、「DRY™」とはまた違った魅力のサウンドを持たせたのがEGF850、EG800C、SS800、SS700、FV800にセットしてある「Screamin™」ハムバッカー。ピックアップのニュアンスを正確に描き出すレスポンスの良さ、ギタリストのハートが伝わる泣きのサウンドがこの「Screamin™」のネーミングの由来となっている。セミアコースティック、フルアコースティックボディによるリッチな響きを最大限に生かすためにコイルをアレンジし、ボディの響きの魅力を十分に味わえるサウンドを創り出すのがこの「The Groove™」ハムバッカー。セミアコースティックのSA900、SA700、SV800、SV600、フルアコースティックのFA700にセットし、ブルージーな響きをサウンドにプラスしている。数多くの試作を繰り返し、決定したコイルス

ベックの「The Groove™」は、これまでのハムバッカーの定説を破ったシークレットスペックがサウンドの決め手だ。**ハムバッキングピックアップを生かすボディ材料**

ピックアップとボディのジャストなマッチングが最高のサウンドエネルギーとなってアウトプットされる。ハムバッカーにベストマッチングなボディ材料といえば、やはり固く締まったサウンドエッセンスをプラスするメイプル材と、ウォームな甘さをプラスするマホガニー材だろう。EGモデルはカナダ産の最高級メイプル材をトップに使用し、厳選したマホガニー材をバックに使用した伝統的なボディスペック、SSモデルはマホガニー材をシャープなThinタイプにカットしたスタイル、ホロウボディモデルはメイプル材とマホガニー材を三層構造にしたスペックと、全てハムバッカーを生かした構造だ。



カナダの寒冷地で育った堅く木目の締まったフレームグレインメイプル材。単板を2ピースピックマッチタイプにセットし、風格あるグレコ・フレームグレイントップのEGFモデルとして響を進めて行く。



スプルース、メイプル、スプルースのセンターブロックにセミアコの鳴りを生み出すオリジナル同様のラインを入れた独特のボディスペック。トップ、バックのメイプル、マホガニーコンビと相まって抜群の鳴り。



充分にアーク抜きを行ない、自然乾燥、人工乾燥、二次乾燥を経て初めにネックにセットするローズウッド指板材。しっくりと指先なじみ技師のタッチを生み出すグレコ独自の乾燥基準を設けて管理を行っている。



運び抜いた原木を使用し、ボディ材として製材してからさらに選別して使用される高品質のマホガニー材。乾燥、シーズニングをグレコ独自の基準で行ない、音響的に最適な状態に仕上げてからボディに加工する。



グレコでは原木を工場内で製材し、木目の通っている最高の材質のみをネック材として使用している。自然乾燥、人工乾燥、荒加工、二次乾燥、シーズニングなど長い歳月をかけてはじめてネックとして加工に入る。



塗装をはじめとする全てのセクションは極めて厳重な品質管理、行程管理の元に行なわれている。塗装セクションはチリ、ホコリなどを完全にシャットアウトした2重のカーテン、エアカーテンで仕切っている。



グレコ研究開発部門には専用の試作工程ラインがある。ボディ用の工作機から、数々のコイル、ピックアップのコイルワイナードまで全て揃え、充分に納得の行くまでサウンドのグレードアップを行なっていく。



ボディとネックを連携するセットネック工程ラインを設けているEGFモデル。半完成のギターがやっとキターらしくそのスタイルを整える部門だ。一本一本確実にセットし、クランプで固定して行く。



EGモデルの最高峰、フレームグレイントップが映えるEGF1800。